

熊本大学附属図書館(中央館)リニューアルオープン記念

第29回 熊本大学附属図書館貴重資料展

永青文庫資料にたどる

物語史と絵

期間 平成25年11月2日(土)～4日(月)

会場 熊本大学附属図書館1階古文書閲覧室

入場無料

公開講演会・第8回永青文庫セミナー

物語史と絵

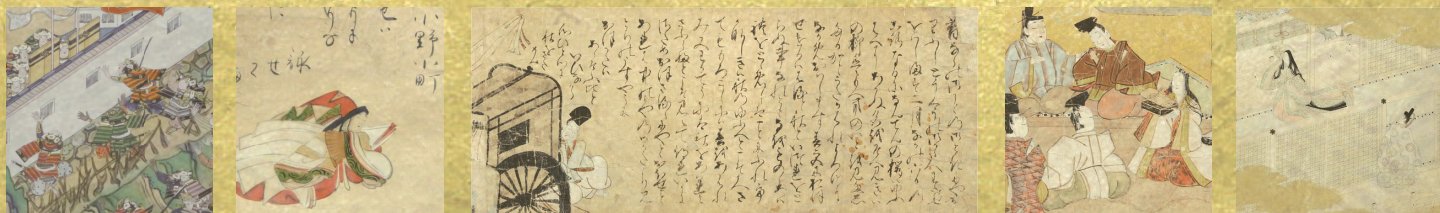
講師 森 正人(熊本大学社会文化科学研究科教授)

日時 平成25年11月2日(土) 午後2時～3時30分

会場 放送大学熊本学習センター3階大講義室

(附属図書館隣)

※聴講無料・先着130名まで入場可



主催 熊本大学附属図書館・熊本大学文学部附属永青文庫研究センター
協力 公益財団法人永青文庫・放送大学熊本学習センター・熊本ルネッサンス県民運動本部
後援 熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・RKK

永青文庫資料にたどる 物語史と絵

物語と絵の関係はきわめて深いものがあります。それは単に物語のよく知られた場面を絵にするとか、読者の興味を引き理解を助けるために挿絵を添えるにとどまりません。物語が絵に描かれ、その絵を見ながら登場人物に身をなして歌を詠んでは、物語に新しい展開を促すこともあります。また、絵巻において、画中に人物の科白やその場面を説明する言葉が書き込まれて、物語としてのふくらみが与えられていく場合もあります。

このように絵と物語の文とは相互に助け合い、触発しあうという動的な関係を結んでいるのです。物語史とは享受と創造とが同時的に営まれる歴史であり、その歴史は絵とともにあったと言っても言い過ぎではありません。

熊本大学が公益財団法人永青文庫より寄託を受けている資料のなかには、奈良絵本の伊勢物語、土佐光起の署名のある絵を表紙に仕立てた源氏物語、平家物語の華麗な大型絵本など、文学史的にも美術史的にも重要な写本、絵巻、絵本が多数あります。また、本学附属図書館も、仲光家文庫をはじめとして貴重な物語の享受資料や版本を蔵しています。これらの資料を用いて、800年にわたる物語の豊穡な歴史をたどります。



「伊勢物語」

むかし男（在原業平）の物語。奈良絵本の作者は特定できないことが多いが、当本は、居初つなの作。東下り章段の内、第九段の三河における八つ橋の場面。

「源氏物語」
土佐光起の表紙絵の源氏物語。本文は寛永の三筆である松花堂昭乗の筆。当場面は、虫巻。源氏異母弟虫兵衛御宮は、源氏の養女である玉鬘の元を訪れる。源氏は虫を放ち彼女の顔を見せようとする。



アクセス



熊本大学附属図書館 放送大学熊本学習センター

◎交通センターから

(13番のりば) 産交バス・電鉄バス：
楠団地、武蔵ヶ丘、大津行き等(子飼橋経由)
「熊本大学前」下車 徒歩3分

※なるべく公共の交通機関をご利用ください。

問い合わせ

熊本大学附属図書館

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40-1

096-342-2212

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>



熊本大学附属図書館公認キャラクター